

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	れもんキッズ石井		公表日		令和8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切であるか。	8	0	・移転し、スペースがかなり広がった。 ・学習も運動も広いスペースでできる。 ・部屋数も多い。	・児童が安全に安心して過ごせる環境づくりを継続しながら、必要に応じて環境整備を行っていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	・現在の職員数は維持していく。	・個別対応が必要である時に足りないと感じる。 ・送迎が増え、事業所にいる職員が少なくなる時がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・各スペースに掲示物を表示し、利用児に分かりやすくしている。	・児童が安全に安心して過ごせる環境づくりを継続しながら、必要に応じて環境整備を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・チェックリストを作って日々掃除を行っている。 ・日々の清掃には気を付けている。	・手洗い場の清潔面、調理後の洗い場の環境が気になる（食中毒が死滅できるか等）
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個別学習ではできるだけ集中できる環境を提供している。 ・個別療育や、宿題、気持ちの切り替え時に使用してもらっている。	・スポーツする天井の高い部屋があれば良い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	・全職員で話し合う機会を持っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・保護者向け評価表が上がってきた意見について、可能な範囲で改善につなげるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・職員から提案があったことについては、職員間で検討し取り入れるようにしている。 ・意見は伝えやすく、検討できている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	・監査を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・内部研修を月一回実施したり、積極的に外部研修への参加をしている。	・対象となる子どもが小学生の研修をもっと受けたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページに公表している。	・利用児の実態に合わせて、今後も変更していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・保護者とのアセスメントで出てきたニーズを取り入れ、事業所での支援を考えている。	・利用児のニーズを積極的に確認し、可能な限り実現させていけるようにしたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・ケース会議により、意見を出し合っ検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・個別支援計画の一覧表を作成し、全職員が日々確認しながら療育活動などに取り入れていけるようにしている。	・定期的に、支援の漏れがないか確認していけるようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・ミーティングにて、職員間で検討できるようにしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・週間で活動プログラムを変更し、様々な活動を行っている。 ・それぞれ支援員が、子どもに合わせた活動内容を考えている。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別活動、集団活動を必要に応じて設定し、支援するようにしている。	・言語など専門的な支援が必要な子どもは小学生にも多いと感じる。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・ミーティングを行い、事前に職員間で支援内容や役割分担について話し合っている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・翌日ではあるが、ミーティングの中で振り返りを行っている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・支援記録は必ずとっている。職員間で支援内容についても話し合う機会を持っている。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・最低6ヶ月に一回はモニタリングを行っている。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0		・自主性や自己決定、自己選択を実際に行う場面は多くない。力を育てるに留まっている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		・体制はあると思うが、実際に各機関との交流し、意見を直接伺ったことはない。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0		
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	3		・保護者を通じての情報になることが多い。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	5	3	・今のところ、障害福祉サービス事業所等への移行はなし。	・今後、障害福祉サービス事業所等への移行があれば、情報提供をしていく。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・名西郡にセンターがない。同法人のセンターとは研修を一緒に受けている。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	・こども支援部会にのみ、管理者が参加している。	・今後、保育士や児童指導員なども参加できるようにしていきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時に様子について伺ったり、お伝えしたりしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2		・今後、ペアレントトレーニングも実施できるようにしていきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時にお伝えしている。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・定期的に面談を行い、意向を確認できるようにしている。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・個別支援計画を示しながら、支援目標や支援内容を説明するようにしている。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・日々、相談に応じられるようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	7	・保護者の要望があれば交流の橋渡しはしているが、保護者会は行っていない。	・今後、実施していきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・LINE公式アカウントを作成し、活用している。	・今後も、LINEでのやりとりを充実させていくようにする。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・日々、取り扱いについては意識できるようにしている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	・地域住民を招待するような行事は実施できていない。	・今後、可能な内容を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルの周知は行っている。	・安全管理や緊急時対応について確認を行いながら、職員間での共通理解を深めていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・モニタリングやアセスメント時に確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・食事提供はしていないが、食物アレルギーがある利用児は把握し、気を付けている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		・もっと職員への周知が必要であると感じる。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・全職員に回覧し、今後の対策について周知できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・職員研修で、虐待防止についての研修は必ず行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・現在、身体拘束が必要な利用児はいない。	記入なし1名	